

DNAから見た栽培品種の再分類

加藤珠理（独立行政法人森林総合研究所 森林遺伝研究領域 非常勤特別研究員）

- a) 栽培品種の識別（品種内・品種間の関係）
- b) 栽培品種の祖先（成立に関わった野生種）
- c) 栽培品種の成立過程（‘染井吉野’を例として）

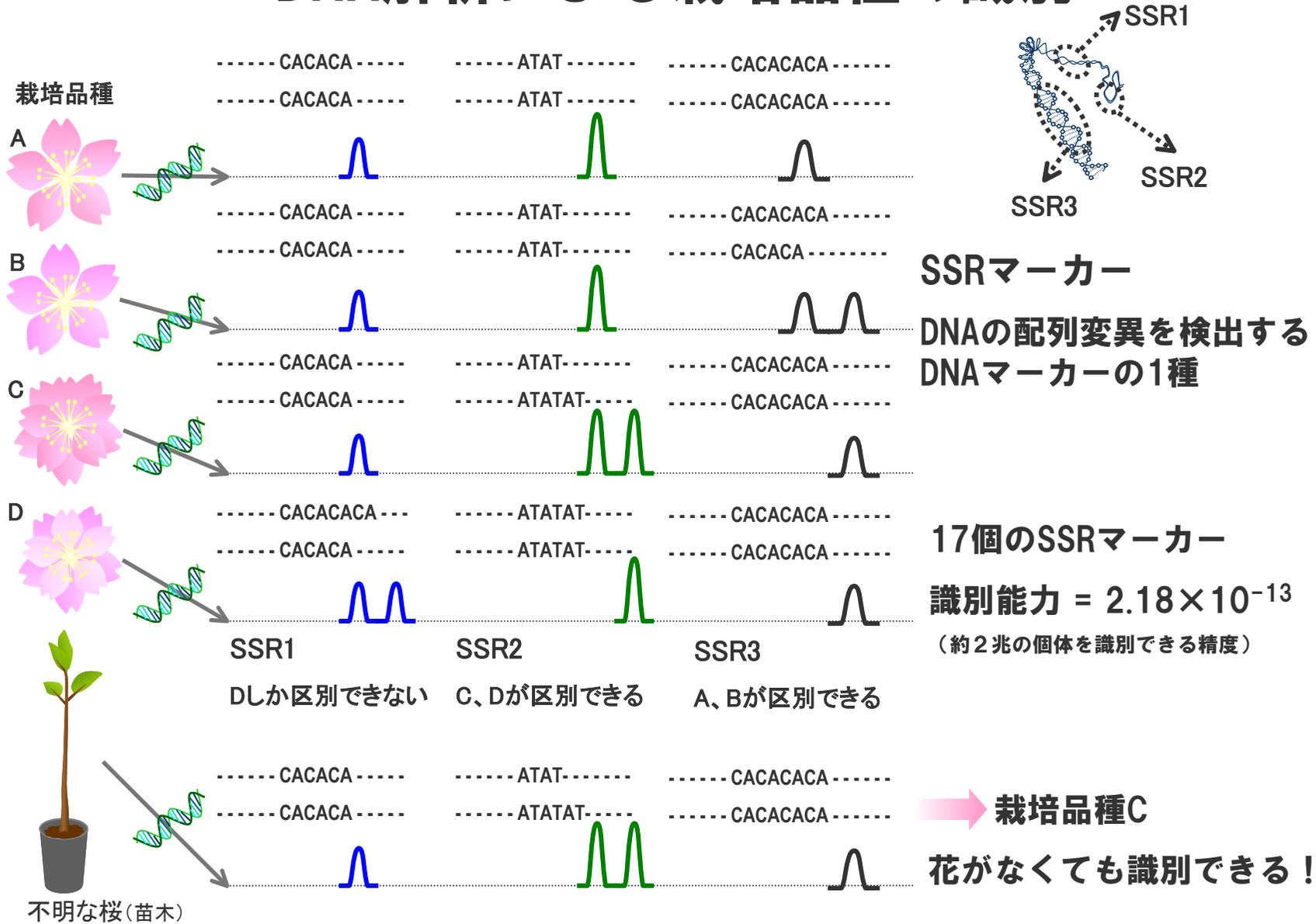
a)の成果については、Kato et al. Breeding Science 62: 248–255 (2012)を参照ください。

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsbbs/62/3/62_248/_article/supplementでPDFファイルをダウンロードできます。この時点では17個のSSRマーカーを用いていましたが、更にSSRマーカーを追加して、新しいデータが増えたので、現在、多少の修正が加わっています。ご了承ください。

b), c)の成果については、現在、投稿論文を準備中です。



DNA解析による栽培品種の識別



サクラの栽培品種の網羅的解析



東京都 多摩森林科学園



静岡県 国立遺伝学研究所



東京都 新宿御苑 64個体

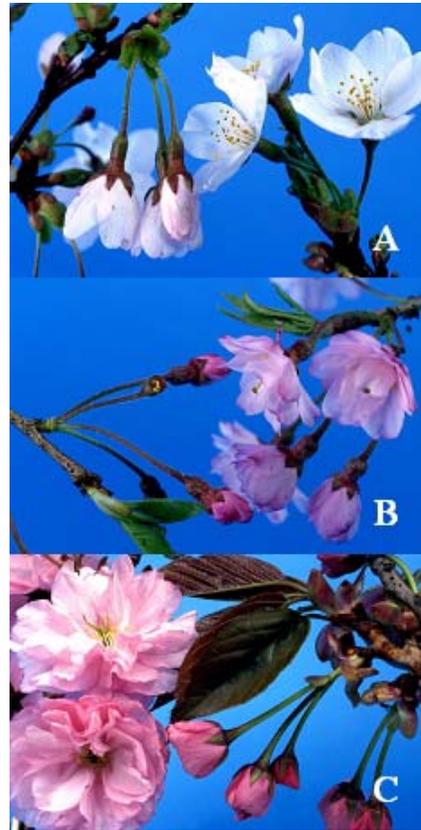
1164個体

251個体

215品種

DNA解析で整理

DNA解析の結果（事例1）



A...‘染井吉野’

B...‘八重紅枝垂’

C...‘関山’

それぞれ、1クローン



‘枝垂桜’

A...香林寺枝垂／新潟県

B...秩父紅枝垂／安行

C...秦雲寺枝垂桜／兵庫県

D...三穂の枝垂毛山桜／長野県)

それぞれ、別クローン

DNA解析により...

→ 個々の違いをはっきりと
認識できるようになった。

DNA解析の結果（事例2）



調べた限りでは
形態は異なるけど、
DNAパターンが一致
つまり、枝変わり？



名前は異なるけど、DNAパターンが一致
つまり、同じ品種



共に京都の桜



DNA解析により...
→ なんとなくで云われてきたことを
はっきり云えるようになった。

調べた限りでは